

石川ビーチ（うるま市）

- 1 基地名：石川ビーチ
- 2 所在地：うるま市石川字石川
- 3 返還面積：88千㎡

4 主な沿革

- ・昭和20年：米軍の侵攻により、一帯の地域は全て破壊され、その後、中部一帯の捕虜収容所を設置
- ・昭和22年：米軍の保養施設として使用
- ・昭和44年：2千㎡が返還
- ・昭和47年：86千㎡が返還
- ・昭和52年：残りの一部(16㎡)が返還され、全部返還となる



5 接收の経緯

この地域は、戦前は字石川の集落のあったところであるが、米軍による接收後は中部一帯の難民を収容する難民収容所が設置されていた。その後米軍は、当該地域の自然環境が保養施設として優れていることから、同地域に収容した難民を移動させて、米軍人及びその家族の保養施設として使用してきた。

6 返還の経緯

昭和41年に一部、昭和44年に2千㎡が返還され、昭和47年に大部分の86千㎡が返還された。昭和52年に残りの一部(16㎡)の地下ケーブル用地が返還され、全部返還となった。

7 現在の土地利用状況

現在の土地利用状況

返還跡地は、白浜原地区土地区画整理事業が実施され、公園等の公共施設、市民の住宅地として利用されている。

※白浜原地区土地区画整理事業：施行年度(昭和51年～昭和54年)

区域決定[告示日](昭和51年12月21日)

換地処分[公告日](昭和54年12月6日)

事業面積(10ha)

総事業費(309百万円)

施行者(組合)



うるま市石川庁舎 平成21年3月

石川公園 平成21年3月



返還前



返還後



昭和47年5月(写真提供: 沖縄タイムス)

白浜原地区土地区画整理事業が実施され、
地区内に庁舎や公園等が整備
平成21年3月(写真提供: 沖縄タイムス)